

刊夕 日三十月八

# 常警日新聞

定価 兩圓五錢 一月五圓 三月十三圓 半年二十五圓 一年五十圓  
 廣告料五號十二字 一頁五圓 五頁十圓 十頁二十圓 二十頁四十圓 三十頁六十圓  
 日曜祭日の翌日休刊  
 發行所 常警日新聞社 東京市本町三丁目  
 電話 六三〇  
 印刷所 常警日新聞社 東京市本町三丁目

## 郵便の知識

平郵便局長 戸石 清

(2)

第四種の業務用書類といふのは、全部若しくは大部分書いたもので、しかも個人宛の通信文でないものをいふ、だから小説の原稿だとか、履歴書などは業務用書類である。

しかし、これに少しでも「御採用願ひます」などいふ通信文があれば、これは第一種の有封書状として取扱はれるから、十五瓦毎に三銭になる。

此の点第一種無封の全部印刷した書状でも、これに他の文句をチョットでも書き加へたならば、もうこれは無封ではないかない、第一種書状になる。名刺や葉書大の紙に謹賀新年と印刷したものは第四種或ひは第一種無封となるが、その文句

### ノート

我國で不注意に棄てた煙草の吸殻が原因となる火事の数は毎年一千五百餘回驚く外はない  
 が四字以上であつてはいけないといふことになつてゐる。

## 書物の中に批評や正誤なら書いてもよいが「この書物は大変爲めになるから是非君に読ませたい、依つて贈る」などと扉に書きつけたりしたもの、信書として十五瓦三銭となる。勿論こんな事の書いてある古本の封筒には、表面と裏面とを問はず、親展、至急、乞御高評など特に許されてゐる文句以外にやたらに書いてはいけない。書くとき第一種有ふうとみなされ、十五瓦三銭の割合で料金を取られるから、不足額の倍額取られる。

第一種の有封書状なら、封筒の表面でも裏面でも、何を書いてもよい、例へば「宛名の御本人御不在の節は、御家族のどなたにてもお聞き被下適宜御取計らひ被下度候」など、通信文を書いてもよいが、無封書状の封筒には、表面と裏面とを問はず、親展、至急、乞御高評など特に許されてゐる文句以外にやたらに書いてはいけない。書くとき第一種有ふうとみなされ、十五瓦三銭の割合で料金を取られるから、不足額の倍額取られる。

- 【朝】 紅茶、カステラ、ピーチ
- 【書】 さつま揚げ
- 【晩】 鶏肉、三つ葉、玉子とち、大根おろし、花かつを

はがきの表面に通信文を書き、繪はがきの表面の中央の線より上へ通信文がはみだしたら、第一種有ふうとなる。

はがきの表面でも、無ふう書状のよう筒でも、大體四字以内の慣用字句なら、よいとなつてゐるが、例へば必親展至急とすれば五字になるが、こんなのは大體差支へないとされてゐる。また差出人の住所氏名身分等はよいが、それ以外のこと、書いてあることによつて、第一種有ふう書状になるかならないかを區別する。

「何々停留場の角のそば屋の裏の二軒目」などと書く  
 のは一向に差支へない。

### 喜多流謡曲と仕舞の

お稽古をお勧め致します

平田町九六

喜多流 謡曲 仕舞 白土會

詳細は本會へ御問合せ下さい 電二二七番

### 門 專

産科 婦人科 花柳病科

◎入院隨意

## 井坂醫院

平田町 電話五五九番

### 夏は行け!

海へ……山へ……

炎天灼くが如き八月ともなれば海へ山へと憧れるのは人間の本能であります。是非お出かけ下さい。

セリザワノニューカーで!

平・三 芹澤タクシ

電 539

### 提灯

御新佛の戒名人 大勉強 岐卓提灯各種

角形一對 二、五〇〇リ 二〇、〇〇マデ  
 瓜形一對 一、八〇〇リ 六、〇〇マデ

尙御好みにより値も品も色々に調製致します  
 御電話下されば早速見本持参御伺ひ致します

## スガノヤ提灯店

平四、電九五番

### 佛壇 位牌 佛具 特賣

早い目が御得です。品種豊富、撰擇御自由、

平町三丁目三六（北裏）

漆器 佛具 卸商 共榮漆器店

### 特約三菱ノ……

菊菱號自轉車

(全部マーク入) 實用堅牢車

平局御用 エビスヤ自轉車店

平南町 電話六六四番

### 愈よ明日限り 福引大賣出し

◎御買上金二圓毎に福引券進呈

景品は本明石、本場銘仙、鳴海本絞、浴衣地等特等より五等まで空籤なし

◎鋪装道路竣工 何卒御誘合せの上御来店下さい。

一圓均一見切品堀出物山積、中元御贈答用格安品豊富取揃へ皆様を御待ちして居ります。

### 三井呉服店

京 染

ジヨゼット 三、五〇 古屋帶、明石、細小紋  
 優秀着尺モス 二、八〇 等盛夏必需品斷然特本 銘 仙 三、五〇 價提供

平 町

電二 八 四 番

# 難關を突破

## 郡下の十八名合格

### 好成绩の海軍職夫採用試験

横須賀海軍工廠の第二回職夫採用試験は去る九、十の兩日福島丁に於て執行されたが本郡よりの受験者二十八名、合格者は昨日發表されたがうち本郡關係左の如

### 本郡産の

#### 鮮魚を献上

#### 山畑知事那須御用邸に伺向

山畑知事那須御用邸に近頃栃木縣那須御用邸に御避暑中におらせられる天皇陛下の天機奉伺に伺向する事になつたがその節本縣産鮮魚並に生鮑を御献上する筈であるが御献上品の鯛は本郡豊間沖合、鮑は同く植田海岸産のものとして決定した

- 入道野村 生田目賢 田
- 人村 鈴木辰雄 夏井村
- 緑川重 大和田一也 江
- 名町 野日武雄 鹿島村
- 新妻正恵 小名濱町 大
- 瀧正己 日向野肅也 箱
- 崎漁吾 赤井村 柳内裕
- 永戸村 平山與三九 海
- 野千代松 澤渡村 遠藤
- 正秋 吉田博之 大浦村
- 中野敏夫 大野村 鈴木
- 昇平 平窪村 福田登

江尻良平

### 植田野球大會

#### ASC優勝

植田スポーツ協會主催福島茨城軟式野球大會は十一、二の二日間亘つて植田小學校で舉行された、参加九チーム炎天下の下白熱戦を演じたが結局植田ASCと大津兩軍が七チームを屠つて十二日午後二時から大津先攻で争鬪戦を展開したが植田チーム地元の應援に意

## 劍道堂々快勝

### 柔道は長蛇を逸す

既報平、福島、郡山、若松四署對抗武闘試合は昨日午前十一時より郡山武徳殿に開催されたが平署選手の奮戦物凄く殊に劍道は團體競技で十三点を擧げて優勝し、個人試合にも一等同署の室井誠吾、二等遠藤正彌の兩氏が堂々優勝して平

## 四署對抗武闘

既報平、福島、郡山、若松四署對抗武闘試合は昨日午前十一時より郡山武徳殿に開催されたが平署選手の奮戦物凄く殊に劍道は團體競技で十三点を擧げて優勝し、個人試合にも一等同署の室井誠吾、二等遠藤正彌の兩氏が堂々優勝して平

氣振ひ九A對二で植田ASC堂々快勝した  
△準決勝  
大津 7—6 平濁  
植田 6—5 勿來  
△決勝  
植田 9A—2 大津

勿來野球 既報勿來主將會議 野球協會では來る十八、十九日の兩日同町小學校で軟式野球大會を催するので來る十六日午後二時より町役場内で主將會議を開くと

日午後二時半から平第一小學校校庭で營林署先攻で開始四A對三で遞友軍辛勝す  
金華山沖で  
盛厚丸大漁  
鯉船續々北上  
本年の鯉船は黒潮の變化による水温の低下から不漁續ぎであつたが去る十一日金山山沖合二百五十海里の漁場に出漁せる小名濱町盛厚丸から無電報告によると最近漸く水温の状態が二ヶ月振りまで回復し餌付は非常に色好となり同船は僅か四日間一萬二千尾を漁獲し鹽釜港に水揚げしたとの入電に刺戟されて郡下沖合の鯉船船は陸續として北上しつゝある

## 二百名跳躍の美

### 新舞踊講習始まる

けふから三日間磐女校で海學校及び湯の岳登山も無事終了したので昨日午前八時より新舞子に於て職員一同の慰勞會を催した  
三村方面委員 左記諸氏はいづれも昨日附方面委員を命ぜられた  
(飯野村)須藤駒吉、永山松吉(大野村)木村正夫、吉田都廣(玉川村)竹原利助、遠藤喜三郎

## 第一校の夏季体育無事終了

平第一小學校では本年度夏季体育施設として催した臨時十四名の交換手がある、有夫者は僅かに二名、他はみんな獨身である、給料は見習級が月十六圓、主任さん(女の書記です)が六十餘圓中堅級が月三十圓内外である

## 回顧談

けふ經國支部講演 經國聯盟磐城支部では今十三日午後七時半より堂ノ前欣淨寺に於て講話會を開き加波山事件加盟者中唯一の生存者宮田佐久間氏を招き當時の回顧談をさく

## 平町人事

回姻 婚  
△秋田縣北郡雲澤村字野田菅原寛一(二九)四丁目阿部サク(二二)

## 木村科醫院

平町六丁目橋際  
電話三〇九番

## 平町の心臓

### 忙しい耳も

或日の打診

ミス交換手の絶えざる努力でよく聽えるデス

「ナンバン? ナンバン?」  
コードを握つて全身の神経を耳につけた受話機に集中して暑熱も物かわ懸念に職務を續ける、  
此處は大平町の耳——平局の交換室、コンクリー

ト壁に囲まれた三十坪、冬寒く夏暑きところ、妙齡のミス・交換手(正しくは通信事務員)三十名が平市民の通信の責任をその一身に擔つて黙々と働らいてゐる、交換上の問答以外、隣席の友との話も許さぬ不自由な

な錠だ、職務從事中は一画面鐵鎖に縛られた「籠の鳥」でもある、  
呼應一日に一萬回——一人一時間に二百五十回、受話機とコードとに目まぐるしい闘争を續けなければならぬ、甘い戀のさや、金儲けの打合せ、さては急死人の通知まで交換嬢の耳を通して傳へられる、「平町の耳」はその反面平町のグラク・チェンバーといつても過言ではない、だから彼女たちは通信上の秘密の漏洩を禁止されてゐる、

## 今年、平第二小學校高等科卒業生の就職志望者の大関はこの交換手であつた

薄化粧ほんのり、紫紺の袴を胸高につけて、楚々と歩む交換嬢の姿は確かに學窓を真立つ乙女の憧憬の對象であるかも知れぬ、だが交換手の職務は遊び半分ではないです、勤務は八時間交代勤務と言へばいへる繁忙さである、それ故にこそ勤務と與えられてゐる  
現在平局には十六才の少女から三十四才のオールド・ミス(大禮?)まで五

一同を召集、來るべき新學期の準備に就いて種々打合せを行ふ

# 最高の人出に

## 各海邊賑ふ

赤字の賣店もきのふは蘇る  
これから夏は降り坂  
打續く不順な天候何時果てるか  
限り知らぬ曇天寒冷の日も日曜には天も哀れんてか奇蹟的に晴れ上る、昨十二日も紺碧の空高く、炎暑灼熱の夏陽輝く絶好の日和に老幼男女擧げて海への「逃避行」だ、平驛の七時、九時の臨時列車は久しぶりの満員、十一時十八分の列車に遅ればせ乍ら海を訪ふ人で超満員、この日平驛からの乗客は四倉行八百二十二人、草野行七十五人、久ノ濱四十五人、合計九百三十二人、平驛今夏最高の成績だ、自動車乗客も亦物凄く貨物自動車競争を見せ、乗合は外側に鈴鳴りの人を乗せて海へ四倉へ！と疾走する

波に躍り、渚に遊び、砂濱に慰ふ人、人の群れ、陽光に曝らされた裸女の曲線美……この日四倉の人出約五千「異變の夏」最高にして亦最後の雑踏、小名濱また湯本、玉川方面の人出に賑はひを見せて久しぶりの盛況であつた  
だが——立秋過ぎて既に五日、涼風立てば土用波いたすらに高く、人の出足も亦鈍る、海邊の砂は濕り勝ち、潮は冷めたい、再び飯らぬ夢を乗せて今年の夏も早や逝く、近年にない異状天候に「海岸賣店」の目算は外れ、算盤の取りやうもな「赤字」の連続に商人は逝く夏を恨んで缺損の整理に泣く、辛き夏！

# 粉炭の自然發火から

## 練炭工場焼く

### 今曉湯本の火事騒ぎ

今曉午前三時半頃湯本町入山炭礦々業所附近にある練炭工場内粉炭置場より發火火は忽ち同工場に燃え移り一時は礦業所も危険に瀕したが平消防組より自動車唧筒駆付け同消防組と協力消火に盡力した結果同四時工場一棟とモーターを全焼して鎮火した損害約五千圓、原因は平署で目下取調中であるが粉炭の自然發火から

# 湯本朝顔展

比佐覺太郎氏特賞

湯本町朝顔會では本月一日より十日迄毎朝公會堂に朝顔陳列會を開き出陳數四百五十八点に達したが去る十日審査せる結果左の如く入賞者決定、午後一時より公會堂で賞品の授與式を行つた  
(特等)比佐覺太郎(一等)石靈豊治(二等)大木平四郎(三等)上川才松

# 豊間村に怪盗出現

## 金庫を破壊し

百三十圓の現金を窃取  
平署で犯人檢舉に躍起  
去る十一日夜高久村大字下高久字馬場雜貨商猪狩貞與方に怪盗忍び入り帳場内にあつた現金百三十一圓在中のレジスターを盗み出し同

# 薩摩守を發見され

## 驛員を杖で亂打

亂暴男罰金不服で正式裁判  
双葉郡長塚村大字長塚字町二ペンキ職今橋卯之次郎(四)は去る四月二日夜浪江驛より無賃乗車長塚驛で下車の際同驛改札係志賀秋夫氏より詰問されたのを憤慨同人を散々に毆打擡帯せるステッキを振り廻し乍ら事務所に侵入したため去る二日平區裁判所に於て傷害並

### 明日のラジオ

十四日

今晩の部  
後六、〇〇(子供の時間) 名作物語「アラディン」の不思議なプラン(二) 東京放送児童話研究會  
後六、二五 講演「農村負債整理組合法に就て」農林省事務官 山本豊  
後七、三〇 趣味の話「藝談十二選」鶴澤道八

### 明日の部

後八、〇〇 水上競技實況 全日本水上選手権大會及日米對抗水上競技大會 神宮外苑プールより中継  
後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告  
前六、二〇 夏期英語講座 (三)の(一) 清野鳴一郎  
後七、二〇 聖典講義「遺言」 博士 竹村一  
小鳥狂お灸 好間村大字北好間字南町田二二時計修繕業佐藤安藏(五)は去る五月二日頃より六月十五日頃迄の間數回に亘り同村山林内よりひばり、きじ、

# 自轉車から墜落絶命

## 急坂で荷車と衝突して

豊間村大字蒲磯字中ノ街農政井宇一(三九)は去る八日午後七時頃自轉車に同村字沼ノ内地内道路の急坂を下つた際前方より荷車を曳いて登つて来た高久村字上山口農志賀重太郎と衝突して轉倒腹部を強打し加療中であつたが去る十一日午後七時絶命した  
平職案紹介所報告  
回人を求める方  
△女中 廿才 高卒 月十圓位  
△鍛冶工・四十以下 尋卒 給料面談  
△農夫 委細面談  
△粕 三十迄 尋卒 月八圓

# 吉田眼科病院

平紺屋町電話六八番  
醫學士 吉田 久雄

# 宗正らひた

美味! 芳醇!  
山崎合名會社 電話一〇番

後〇、〇五 合唱と和讃 吉田高等女學校生徒  
後六、〇〇(子供の時間) 名作物語「アラディン」の不思議なプラン(三) 東京放送児童話研究會  
後六、二五 趣味講座「奥の細道を辿る」(六) 石田元季  
後七、三〇 趣味の話「藝談十二選」(四) 實生新  
後八、〇〇 獨唱と合唱 寶塚少女歌劇團聲樂專科生  
後八、五五 各地盆踊り 河内門真村外大勢  
後九、一五 木曾盆踊實況 木曾福島より中継

# 近斬立頭

(警署上段及上警)

田邊南龍(作)  
山本英春(監)

「一〇八」  
水あびせの喧嘩  
「それじゃア長兵衛さんの親分のデックリ清兵衛さん……」  
「もつとえらい人」  
「長兵衛さん清兵衛さんの上を越した人はない筈だ」  
「ところが清兵衛さんの親分の半兵衛といふ人を連れて来ました」  
「何をいつて居やアがる、半兵衛なんてえ人は顔役の内です聞いた事がない」  
「それがえらい人で中絶して居たから素人は知らないが、その道の人は知って居るてえ事でございます。その半兵衛といふ人のえらいといふのは先づ第一に時でこれこれ、それから煙草入を見ましたら松皮印傳に金と赤銅の三本鎖、根付けといふのが谷の七賢人、煙管といふのは金と銀と赤銅で彫が付けて居り、前金物は金の狂獅子に牡丹が付いて、その牡丹が今にも開くかと思ふばかり、それからまた驚いたは脇差でございます、赤銅七子に牡丹の狂獅子の目貫中身といふのは彦四郎貞宗で、檀那の持つて居なさると同じこと……それから大阪の城を見たときにこれー仰しや

「そりやア藤吉飛んだ事をした天王寺屋五平といへば丸持長者鑑に載つて居る身の上だ、そんな事をいつてこの家へ十五日まで居て家の容子をスツカリ探つて仕舞ひ、イザと云ふと上着を



脱げば鎖帷子に黒の筒袖を着て大小を差して螺をブーくと吹けば、かねて前に示し合してあるから四方を打毀して子分が薙刀、槍、鐵砲を持つて躍り込み、お頭首尾は……シイ……」  
「何の事と申して居ます」  
「貴様泥棒の頭を引つて来たんだ、普通の者が彦四郎の脇差なんぞを差して居る譯がなからう、泥棒だ」  
と聞いて藤吉は驚いて居ると門口に聞いて居た長兵衛

「俺の事を泥棒々と云つてお出でなすつたか」  
「お一人で」

「隣の衆が」

長兵衛さんに違ひなからうと見て取つたから、下へも置かんやう町亭に取扱つて居りました、さて愈々一月十五日の當日と相成りましたから、家の前には筑前米の俵と肥後米の俵を積んで天王寺屋といふ印の付いて居る提灯をつけて新しい手桶の中へ梅の折枝が這入つて居る見世の者はズラリと並んで居りました、長兵衛は黒の衣類に黒斜子の羽織仙臺平千筋の袴、後へ脇差を置いて前に煙草盆と手焙りを控えて居るところへ、

● 季節鳥料 ●

やな川  
なう  
ぎ  
は

平田町  
魚榮へ

配達迅速  
電話四二四

店主が店員を連れて行かれます

正	正	正	か	を	店
シ	シ	シ	れ	連	主
イ	イ	イ	る	れ	が
酒	喫	食		て	店
場	茶	堂		行	員

平・田町  
レストサロン  
電話二五三番

すばらしい新型の  
婦人子供服豊富

一流デパート専属の婦人子供服製造元よりの直仕入たる新型服は店內豊富に陳列してございます。夜の御散歩には是非店内を御自由に御覧下さい。

平町二丁目  
山家メリヤス店  
電話六〇五番

電話六四〇番  
皆様のタクシーへ

此度は夏にふさはしいすがくしい色彩のニーアクシヨ式新車が入車致しました、自動車の御用命はチリンチリン六四〇番を御呼び下さる皆様を新車と共に従業員一同御待ち申して居ります。新車も揃ひましたから遠乗の御用には特に御相談に應じます。

尼子タクシー  
電話六四〇番

父白鴻院新益佛事上小川村生家に於いて相營可申候處誠に勝手乍供物一切辭退申上候

白井一郎

夜間 診療

胃腸病科 皮膚科

花柳病科 性病科

院醫科性胃腸村松  
(番七〇一電町南町平)